

## 校内音楽会挨拶

### 【一部(低学年)】

こんにちは。

校内音楽会を行うにあたって、楽しみな人もいるでしょう。うまくできるか不安な人もいるでしょう。

合唱も合奏も「合わせる」という漢字が使われています。何を合わせるか？先生は5つ合わせる必要があるかと思います。

「音を合わせる」

「リズムを合わせる」

「はやさを合わせる」

「息を合わせる」

そして「心を合わせる」です。

上の4つは、音楽の授業などで練習してきたと思います。「心を合わせる」とは、みんなで歌ったり、演奏したりして、1つの曲をつくるので、「みんなでよいものをつくろう！」「みんなのために全力でしよう」とか「みんなのために一生懸命しよう」「自分の役割をしっかりと果たそう」という心だと思いません。そのような心で取り組んでみてください。

最後に、学校運営協議会の皆様、民生児童委員の皆様、学校支援ボランティアの皆様、そして保護者の皆様、環境整備、学習・授業支援、あたたかいサポート、いつもありがとうございます。「心を合わせる」で1つ言い忘れておりましたが、今日は子どもたちは「感謝の心」でも合唱・合奏もしてくれると思います。よろしくお願いいたします。



### 【二部(高学年)】

こんにちは。

先ほど校内音楽会の第一部が終わりました。低学年の子どもたちには「合わせる」ということを話をしました。

高学年には「聴く」ということをお話したいと思います。音楽の「きく」は「聞く」ではなくて「聴く」です。耳辺に14の心と書きます。今日は14の心で聴いて欲しいともいます。

「ゆったりとした心」「明るい心」「優しい心」「受け入れる心」「興味を示す心」

「好意的な心」「誠実な心」「先入観のない心」「公平な心」「肯定する心」「共感する心」

「信頼の心」「理解する心」「感謝の心」

この言葉の前に、「自分の」と言う言葉を入れて読んでみてください。難しい言葉もあるかもしれませんが、そのような心をもって聴いてください。

また、今日、悲しいニュースがありました。4年生が合奏をする「鉄腕アトム」の歌の作詞をした谷川俊太郎さんが92歳でお亡くなりになりました。図書室廊下に貼ってある「きりなしうた」や「スイミー」の翻訳をされた作家です。皆さんになじみの深い谷川俊太郎さんを偲んで、演奏をして聴いてほしいと思います。

最後に、学校運営協議会の皆様、民生児童委員の皆様、学校支援ボランティアの皆様、そして保護者の皆様、環境整備、学習・授業支援、あたたかいサポート、いつもありがとうございます。皆様も今日は14の心で子どもたちの合唱・合奏を聴いていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。